

平成28年5月24日開催の
「平成28年度 工事入札契約関係等に関する説明会」においての質問と回答

□平成28年度工事調達における総合評価落札方式の運用ガイドラインについて

質問	回答
i-Constructionの対象について、発注者指定型、施工者希望型等あるが、数量総括表から入札希望者が判断するのか。	発注者が決め、入札公告、入札説明書に記載します。
i-Constructionにかかる費用については、出してもらえるのか。	機械の費用については積算基準を定め計上し、測量及び設計については見積等頂き費用を計上します。
配置確認日は記載されるのか。	入札説明書に記載します。

□申請時の注意事項について

質問	回答
i-Construction工事は「MC、MG」を実施することになるため、「MC」の実施としても加点対象となるのか。	「MC」加点対象は舗装工・路盤工であり i-Construction対象は土工となるため i-Constructionを行っても「MC」での加点対象とはなりません。
歩掛見積書について、表紙(様式25)についてはワードで、見積書(様式26)がエクセルで提供され、様式26には企業名を入れないように指示されているが、同じエクセルファイルにならないか。	コンプライアンスの徹底のため、表紙と見積書は引き続き分割して提出をお願いします。
工事費内訳書について、入力ミスしないようチェックが負担となっているため、工種や数量を入れたエクセル表を公告時に出してもらえないか。	工事費内訳書に入力する工種及び数量は、公告時にcsv形式でデータを提供させて頂いており、容易にエクセルに記載出来ると考えております。
同時提出型は、技術資料(競争参加資格確認資料)と同じ提出期限となるが、工事施工内容確認資料はメールかFAXで提出し着信確認時に企業名を名乗るのため、技術資料等に名前を伏せている作業と矛盾している。	工事施工内容確認資料については様式に企業名の記載欄があり、また、提出先も総合評価審査担当とは別となっています。ミス防止のためにも同時提出型と通常型とで提出先・提出方法を変えないようにしたいと考えております。
【要望】 災害活動実績の評価対象年度は、今回は拡大がないが大きな災害がないと実績がなくなり企業努力で増やせるものではないので、対象年度の拡大の検討をお願いしたい。	検討させていただきます。

<p>若手技術者について40歳以下配置すれば、どこをどう工事成績に加点してもらえるか明確に書いてあるか。</p>	<p>加点について明確に記載してあるものではありません。 ただし、若手技術者を配置し品質向上等への取組みを加点評価します。</p>
<p>段階選抜と手持ち工事量について、新聞報道にあったが導入されるのか。</p>	<p>本省のガイドラインが4月に改定され、手持ち工事量が評価出来るようになりました。段階選抜も含め中部地方整備局でどう取り入れていくかは今後検討していきたく考えております。</p>

営繕工事における入札時積算数量活用方式の試行について

その他